

平成 29 年度私学支部研究会報告

第 1 回 研修会

- 1 日時 平成 29 年 5 月 15 日（月）14:00～16:00
- 2 場所 兵庫県私学会館 101 号室
- 3 内容「“主体的・対話的で深い学び”の実現のために」
～学校図書館から始める課題発見&解決型アクティブ・ラーニングへ」
- 4 講師 梅澤 貴典 氏
(中央大学入学センター入試課所属)
- 5 参加人数 25 名
- 6 事例
 - (1) 自己紹介とイントロダクション
 - (2) “主体的・対話的で深い学び”によって、子どもの「生きる力」を育てるために
 - (3) 図書館活用・情報リテラシー教育の実践事例
→「今の大学生が何を知っているか？何を知らないか？これから何を学ぶのか？」
を知り、その準備のため「学校図書館にできる支援」および「公共図書館との
連携による発展の可能性」を考える。
 - (4) 海外事例（カナダ・クイーンズ大学図書館）

第 41 回 生徒図書委員研修会

- 1 日時 平成 29 年 7 月 15 日（土）14:00～16:00
- 2 場所 関西学院中学部図書館
- 3 内容「伝える力ー図書館・図書委員会の活動紹介とビブリオバトル」
「伝える力」をテーマに、関西学院中学部の図書館部員の皆さんの司会によって、会が進行し、運営されました。
- 4 参加人数 11 校、生徒 74 名、教員 16 名
- 5 事例
 - (1) 図書館・図書委員の紹介。
各校が、工夫を凝らした発表で、図書館を楽しく利用してもらえるような工夫をしていました。
具体的には、新着著書のブッカーかけや、POP 作り、本のしおり作りや、展示物作成、オリジナルカルタの作成、図書館ニュースの作成、ビブリオバトルの開催など。
 - (2) ビブリオバトルブロック戦
中学生 2 グループ、高校生 3 グループにわかれてビブリオバトルを開催。
それぞれのグループの司会に関西学院の図書委員さんが入って、グループの優勝者が、決勝戦へと進む。
 - (3) ビブリオバトル決勝戦
全員が見守る中、中学校の部のチャンプ本は、『海底二万マイル』。高校の部は『切符をなくして』。
どちらも、作品の好きなどを真摯に伝えたことが、会場の心をつかんだようでした。

第1回司書部会研修会

1 日時 平成29年10月12日(木) 14:00~16:00

2 場所 啓明学院中学校・高等学校

3 テーマ「教科と図書館との連携を考える」

4 参加人数 14校 18名

5 事例

(1) 14:00~15:00 図書館を使った授業の見学・図書館見学

読書科というユニークな教科を持つ、啓明学院中学校・高等学校の図書館での授業を見学させてもらった。奈良への「校外学習」の事前学習の形をとって、図書館で調べものをする。そして論文に仕上げていくまでの手順が、しっかりマニュアル化されており、時間配分もだんだんよく、きちんと進んで行った。生徒が、本をコピーする小銭を持って、授業に臨んでいるのも、新鮮であった。

(2) 15:00~16:00 質疑応答・情報交換

「図書館を使ったレポート作成の授業」の見学と図書館見学を通して、参加校の教科と図書館との連携に生かせる授業の工夫について、学びあい、共有することができた。

ブックトークのあり方や最後に論文を完成するまでのプロセスなど、学ぶことの多い研修であった。

第2回 研修会

1 日時 平成29年10月24日(火) 14:00~16:00

2 場所 兵庫県私学会館101号室

3 テーマ「私学教育のこれからと学校図書館」

4 講師 高見 茂 氏(京都大学白眉センター特定職員/元京都大学教育学研究科教授)

5 参加人数 10名

6 講演内容の要旨

(1) 世界の変化と教育・研究

激動する世界情勢の中で、日本の立ち位置が問われている。日本は、内向きで、リスクをとらない社会になっている。その間に、頭脳がどんどん流失している。日本社会の変わらなさ。たとえば、ドバイは、この25年でめざましく変化している。日本は、失われた20年と言っているだけで、社会が変わらない。将来は、定型業務はAIがとって代わり、65%は今は存在しない職業に就く。

(2) ようやく始まった教育改革

知識の獲得+志が大切。これからの人間像。人間の役割が変わる。選択・判断ができる人、それを表現できる人が求められる。一言で言えば、「教養教育」の必要。

(3) 私学の私学たる所以

私学の特色がこれからアドバンテージになっていく。司書配置状況一つをとっても私学は有利。教育権保障の拠点としての私学。権力との距離をとり、私学の自由を生かし、建学の精神、在野の精神、進取の気性、を発信すること。そして、次の時代を引っ張って行く者を育成しなければならない。

(4) 学校図書館の機能

学校図書館には、①読書センターと②学習情報センターとしての役割がある。読書量はその人の人生(大学卒業後の成功)を決める、ということは、エビデンス(証拠)がある。

(5) その他

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く Society5.0 にむけて、私学の私学たる所以を持って当たるべし。